

チャレンジシート① 学ぶ

単 元 名

2 年 地理的分野 日本の地域的特色

【日本の農業の特色】

九州地方

- ・筑紫平野は稲作がさかんで、冬の温暖な気候を生かして小麦などの二毛作を行う。
- ・宮崎平野では、冬の温暖な気候を生かして、ビニルハウスでの野菜の促成栽培を行う。
- ・シラス台地が広がる九州南部では、畑作と肉牛、豚、鶏の飼育をする畜産がさかん。

中国地方

- ・高知平野では、温暖な気候を生かした米の二期作から、野菜の促成栽培が中心になった。
- ・瀬戸内では、愛媛のみかんや岡山のブドウ栽培がさかん。

近畿地方

- ・降水量の多い紀伊半島では、「吉野すぎ」や「尾鷲ひのき」などの林業がさかん。

中部地方

- ・知多半島や渥美半島では、温暖気候を生かして野菜や果樹、花の栽培がさかん。
渥美半島では、ビニルハウスで菊や温室メロンを栽培する施設園芸農業を行う。
- ・静岡県の牧の原を中心に、温暖な気候と水はけのよい土地を利用した茶の栽培がさかん。
- ・中央高地の甲府盆地や長野盆地では、養蚕からぶどうやもも、りんごの果樹栽培に変化した。
- ・野辺山原などでは、冷涼な気候を生かしてレタスやキャベツなどの野菜栽培がさかん。
- ・北陸では米の単作がさかんに行われ、全国でも有数の稲作地帯である。

関東地方

- ・東京の郊外では、野菜の生産や畜産を行う近郊農業がさかん。
- ・関東平野では野菜栽培がさかんで、茨城のはくさいやピーマン、千葉のねぎやほうれんそうなど各地に特産地ができている。
- ・群馬の妻恋村などの高冷地では、夏の涼しい気候を生かしてキャベツなどの高原野菜を栽培する。

東北地方

- ・秋田、庄内、仙台平野を中心に稲作がさかんに行われている。減反政策、やませによる冷害に対して銘柄米の開発でのりこえた。
- ・水はけのよい山の斜面や扇状地では、果樹栽培がさかんに行われている。
特に、青森のりんご、山形のさくらんぼ、福島のものもの生産が多い。

北海道地方

- ・石狩平野では、泥炭地の開発と米の品種改良によって、稲作がさかんに行われている。
- ・十勝平野では、広大な農地と大型機械による畑作がさかんで、じゃがいもやたまねぎ、てんさい、などの生産が多い。
- ・根釧台地では、国の政策で酪農の村が計画的につくられ、大規模な酪農が行われている。

チャレンジシート② 基本

単 元 名

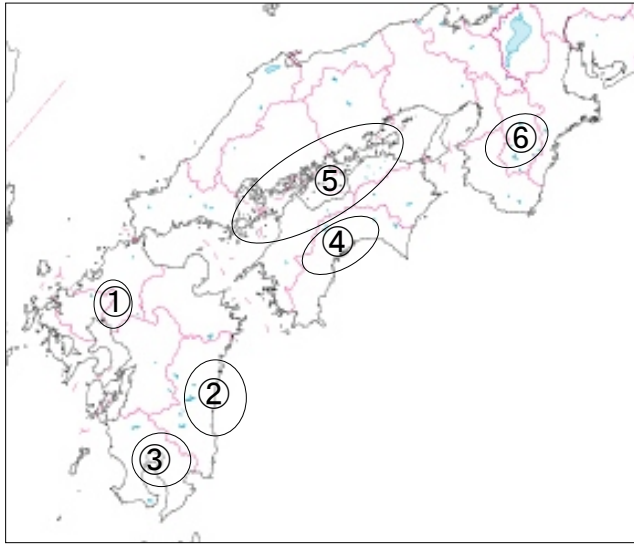
年 組 番

2年 地理的分野 日本の地域的特色

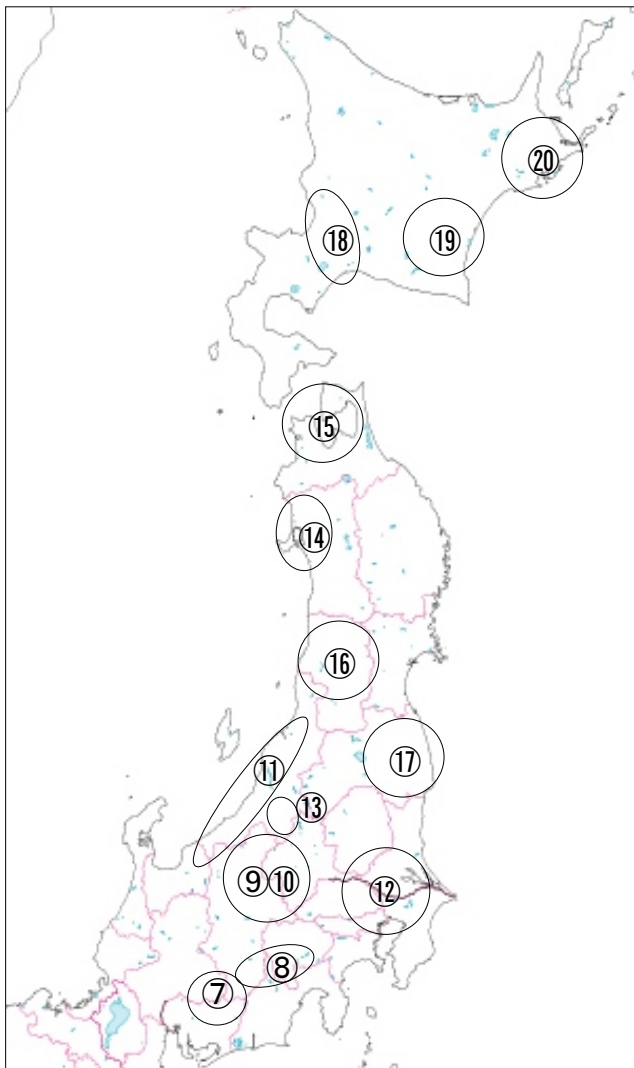
氏名

27 問

【日本の農業の特色】



- ①筑紫平野は()がさかんで、冬の温暖な気候を生かして小麦などの()を行う。
- ②宮崎平野では、冬の温暖な気候を生かして、ビニルハウスでの野菜の()を行う。
- ③()が広がる九州南部では、畑作と肉牛、豚、鶏の飼育をする()がさかん。
- ④高知平野では、温暖な気候を生かした米の()から、野菜の()が中心になった。
- ⑤瀬戸内では愛媛の()や岡山のブドウ栽培がさかん。
- ⑥降水量の多い紀伊半島で「吉野すぎ」や「尾鷲ひのき」などの()がさかん。



- ⑦渥美半島のビニルハウスで菊や温室メロンの()を行う。
- ⑧静岡県牧の原を中心に()の栽培がさかん。
- ⑨甲府盆地や長野盆地では、()からぶどうやもも、りんごの果樹栽培に変化した。
- ⑩野辺山原などでは冷涼な気候で()などの栽培がさかん。
- ⑪北陸では米の()がさかんに行われる稲作地帯である。
- ⑫東京の郊外で野菜の生産や畜産を行う()がさかん。
- ⑬群馬の妻恋村などの高冷地では、夏の涼しい気候を生かしてキャベツなどの()を栽培する。
- ⑭()、庄内、仙台平野を中心に稲作がさかんに行われている。()、やませによる()に対して()の開発でのりこえた。水はけのよい山の斜面や扇状地では、果樹栽培がさかんに行われている。特に、⑮青森の()、⑯山形の()、⑰福島の()の生産が多い。
- ⑱石狩平野では、泥炭地の開発と米の品種改良によって、()がさかんに行われている。
- ⑲十勝平野では、広大な農地と大型機械による()がさかんで、()やたまねぎ、てんさい、などの生産が多い。
- ⑳根釧台地では、国の政策で計画的につくられた村で、大規模な()が行われている。

チャレンジシート① 学ぶ

単 元

2 年 地理的分野 日本の地域的特色

【日本の工業の特色】

九州地方

- ・北九州工業地帯として、八幡製鉄所の鉄鋼業を中心に発達した。
- ・現在は、高速道路や空港の近くに自動車や I C 工場が増加している。

中国地方

- ・瀬戸内工業地域では、鉄鋼業や石油化学工業が発達している。
- ・岡山県倉敷市の水島、山口県の周南市や岩国市など、石油化学コンビナートが発達している。

近畿地方

- ・阪神工業地帯では、せんい工業中心に発展し、戦後は臨海部で石油化学工業が発達した。
- ・都市内部に中小企業が多く、先端技術産業を支える企業もある。
- ・地盤沈下や環境保全を考え、リサイクル水を使用するなどの環境対策を実施する工場が増えた。

中部地方

- ・中京工業地帯は豊田市を中心に自動車産業、伊勢湾沿いで鉄鋼や石油化学工業が発達している。
- ・東海工業地域では、浜松のオートバイや自動車、楽器の生産がさかん。
静岡県富士市では、製紙・パルプ工業がさかん。
- ・諏訪盆地では精密機械工業が発達している。
高速道路の整備により電気機械工業が発達してきた。
- ・北陸地方では地場産業が発達し、燕市の洋食器などの金属製品の生産がさかん。
また、古くからの技術を生かした伝統的工芸品の生産がさかん。

関東地方

- ・京浜工業地帯は、化学、鉄鋼、機械を中心に発達し、出版・印刷業が東京中心部に集中している。
- ・北関東工業地域は、内陸部の高速道路沿いに工業団地をつくり、機械工業を中心に発達した。

東北地方

- ・伝統的工芸品の生産がさかんで、会津塗や南部鉄器などの伝統産業が発達している。
- ・東北自動車道沿いに工業団地をつくり、I C・半導体、電子機械などの工場が進出している。

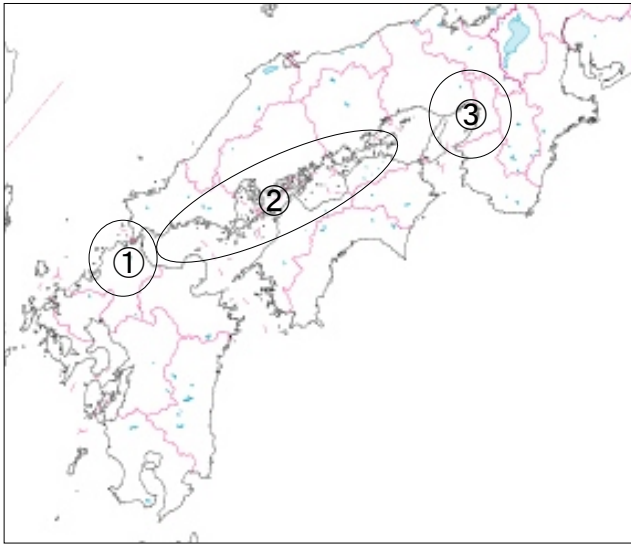
北海道地方

- ・豊富な農産物や水産物をつかった食品加工の産業がさかん。

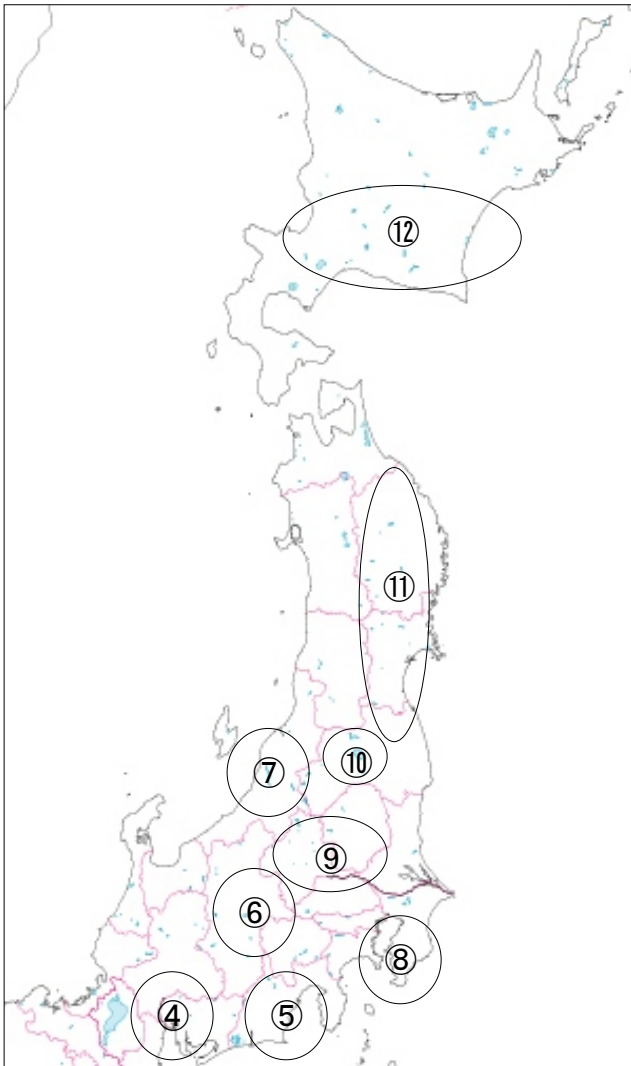
チャレンジシート② 基本

単 元 名	年 組 番	23 問
2 年 地理的分野 日本の地域的特色	氏名	

【日本の工業の特色】



- ①()工業地帯として、八幡製鉄所の鉄鋼業を中心に発達した。現在は、高速道路や空港の近くに自動車や()工場が増加している。
- ②()工業地域では、鉄鋼業や石油化学工業が発達している。岡山県倉敷市の水島、山口県の周南市や岩国市などに()が発達している。
- ③()工業地帯では、せんい工業中心に発展し、戦後は臨海部で石油化学工業が発達した。都市内部に()が多く、()産業を支える企業もある。地盤沈下や環境保全を考え、()水を使用するなどの環境対策を実施する工場が増えた。



- ④()工業地帯は豊田市を中心に()、伊勢湾沿いで鉄鋼や石油化学工業が発達している。
- ⑤()工業地域では、浜松のオートバイや自動車、()の生産がさかん。静岡県富士市では、()・パルプ工業がさかん。
- ⑥諏訪盆地では()が発達している。高速道路の整備により()が発達してきた。
- ⑦北陸地方では()が発達し、燕市の洋食器などの金属製品の生産がさかん。また、古くからの技術を生かした()の生産がさかん。
- ⑧()工業地帯は、化学、鉄鋼、機械を中心に発達し、()業が東京中心部に集中している。
- ⑨()工業地域は、内陸部の高速道路沿いに工業団地をつくり、機械工業を中心に発達した。
- ⑩東北地方は()の生産がさかんで、会津塗や南部鉄器などの伝統産業が発達している。
- ⑪東北自動車道沿いに()をつくり、I C・半導体、電子機械などの工場が進出している。
- ⑫豊富な農産物や水産物をつかった()の産業がさかん。

チャレンジシート① 学ぶ

【日本の自然の特色】

単 元

2 年 地理的分野 日本の地域的特色

九州地方

- ・ 暖流の黒潮と対馬海流の影響で冬でも温暖な気候。梅雨から台風が通過する時期に雨が多く、集中豪雨による洪水や土砂くずれなど災害が多い地域。西南諸島は亜熱帯性の気候。
- ・ 多くの火山が分布し温泉も多い。阿蘇山は巨大なカルデラ、桜島周辺にシラス台地が広がる。

中国地方

- ・ 中国山地北側の山陰では、冬の季節風の影響で積雪量が多い。
- ・ 四国山地南側の南四国では、黒潮の影響で温暖で降水量が多い。
- ・ 瀬戸内海に面した瀬戸内は、年間を通して降水量が少ない。

近畿地方

- ・ 北部は冬の北西の季節風で積雪量が多く、リアス式海岸の若狭湾が広がる。
- ・ 中央部は、京都盆地や奈良盆地、大阪平野などの盆地や平野が広がる。
- ・ 南部は紀伊山地があり、黒潮の影響で温暖な気候。夏の南西の季節風の影響で多雨地帯。

中部地方

- ・ 中央部の中央高地は内陸で標高が高いため、冬の寒さが厳しく、年間の降水量も少ない。3000m 級の三つの山脈(飛騨・木曽・赤石山脈)は「日本アルプス」とよばれている。
- ・ 北陸は日本海側の気候で、冬の北西の季節風で積雪量が多い。日本一長い信濃川下流の越後平野をはじめ、平野が多い。
- ・ 東海は太平洋側の気候で、夏は暑く降水量が多く、冬でも比較的温暖である。

関東地方

- ・ 大部分が太平洋側の気候で、夏は梅雨や台風で降水量が多い。冬は北西の季節風で晴れの日が多く乾燥している。
- ・ 日本最大の関東平野に利根川が流れ、台地には火山灰が積もった関東ロームでおおわれている。

東北地方

- ・ 緯度が高く北にいくほど冬の寒さが厳しい。冬の季節風の影響で日本海側は積雪量が多く、太平洋側は少ない。太平洋側は夏に北東からの冷たい風「やませ」がふくと気温が下がる。
- ・ 中央に奥羽山脈が南北にはしり、三陸海岸南部はリアス海岸が広がる。

北海道地方

- ・ 亜寒帯に属し、冬の厳しい寒さと夏の涼しさが特色。西部は冬の積雪量が多く、夏の気温はやや高くなる。東部は、積雪量は少ないが特に寒く、夏も気温が上がりにくい。
- ・ 中央の日高山脈と北見山地で西部と東部に分かれ、西部は石狩平野、東部は十勝平野や根釧台地が広がる。

チャレンジシート② 基本

単 元 名

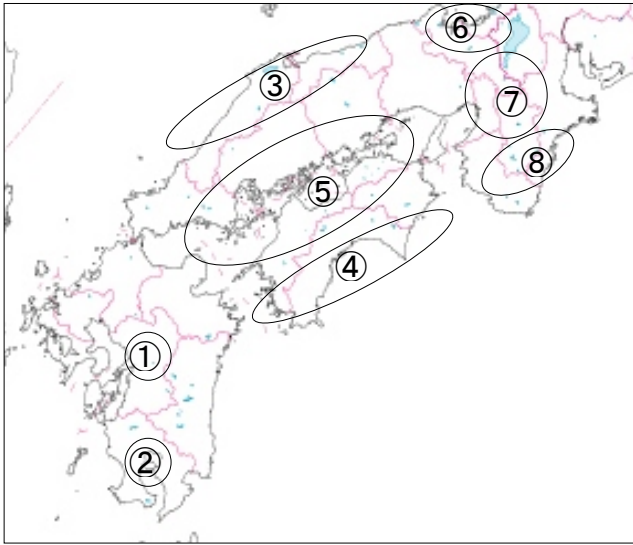
年 組 番

2年 地理的分野 日本の地域的特色

氏名

26 問

【日本の自然の特色】



【九州】

①多くの()が分布し温泉も多い。阿蘇山には巨大な()、②桜島周辺に()が広がる。

【中国・四国】

③中国山地北側の()では、冬の季節風の影響で積雪量が多い。④四国山地南側の()では、黒潮の影響で温暖で降水量が多い。⑤瀬戸内海に面した()は、年間を通して降水量が少ない。

【近畿】

⑥北部は冬の北西の()で積雪量が多く、リアス式海岸の若狭湾が広がる。⑦中央部は()盆地や奈良盆地、()平野などの盆地や平野が広がる。⑧南部は()山地があり、黒潮の影響で温暖な気候。夏の南西の季節風の影響で多雨地帯。

【中部】

⑨中央部の()は内陸で標高が高いため、冬の寒さが厳しく年間の降水量も少ない。3000m級の三つの山脈(飛騨・木曽・赤石山脈)は()とよばれている。

⑩()は日本海側の気候で、冬の北西の季節風で積雪量が多い。日本一長い()川下流の()平野をはじめ平野が多い。⑪()は太平洋側の気候で、夏は暑く降水量が多く、冬でも比較的温暖である。

【関東】

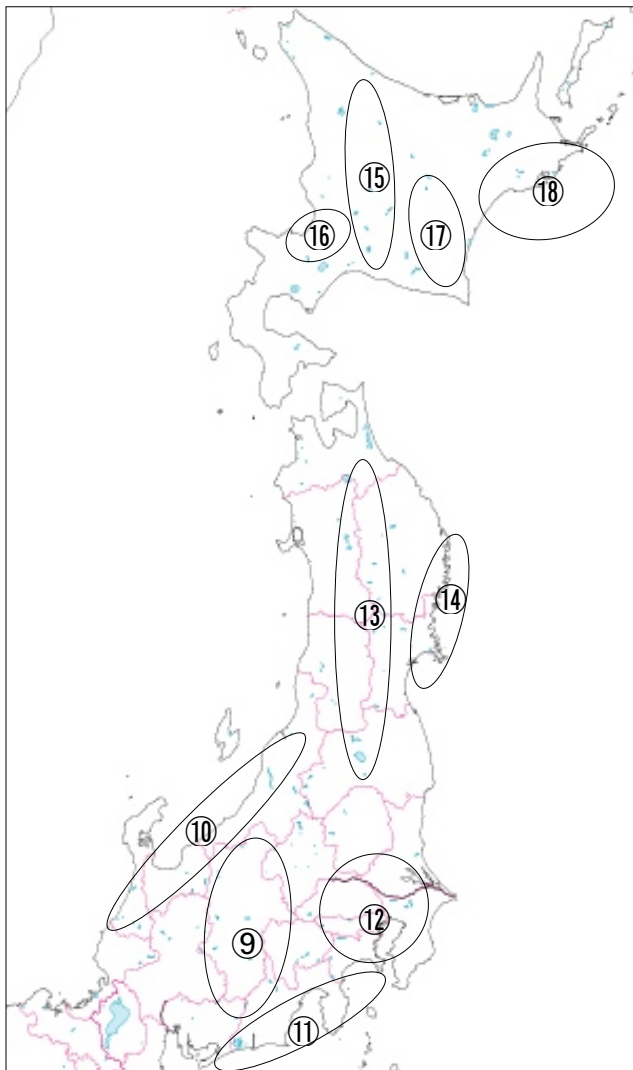
⑫日本最大の()平野に利根川が流れ、台地には火山灰が積もった()でおおわれている。

【東北】

緯度が高く、北にいくほど冬の寒さが厳しい。⑬冬の()の影響で日本海側は積雪量が多く、太平洋側は少ない。太平洋側は夏に北東からの冷たい風()がふくと気温が下がる。⑭中央に()山脈が南北にはしり、三陸海岸南部は()が広がる。

【北海道】

亜寒帯に属し、冬の厳しい寒さと夏の涼しさが特色。⑮中央の()山脈と北見山地で西部と東部に分かれ、西部は⑯()平野、東部は⑰()平野や⑱()台地が広がる。



チャレンジシート③ ジャンプ

単 元 名	年 組 番	15 問
2 年 地理的分野	氏名	
日本の地域的特色①		

【九州・中国・四国地方】

(1) 右の地図中 A の工業地帯は、明治時代に建設された製鉄所を中心に発達した。この工業地帯、および製鉄所を何というか。

工業地帯名 ()

製鉄所名 ()

(2) A の筑紫平野は米の生産がさかんであるが、米の収穫後に小麦やイチゴなどを栽培している。この農業を何というか。

()

(3) 右の表は地図中の A ～ D の米とピーマンの収穫量、牛肉の生産量、漁獲量を表している。C 県にあてはまるものはア～エのどれか記号で答えなさい。

()

(4) C 県で促成栽培を行う生産者の利点を「出荷時期」「価格」の二語を使って、簡潔に書きなさい。

()

(5) D 県の火山灰が堆積した大地を何というか。

()

(6) 右の I ～ IV の雨温図は、地図中の X ～ Z のいずれかの都市のものである。X ～ Z にあてはまる雨温図を選んで答えなさい。

X () Y ()

Z ()

(7) 地図中 A 市にはため池が多くみられる。

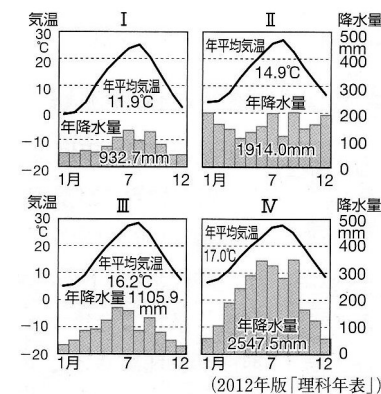
その理由を簡潔に書きなさい。

()

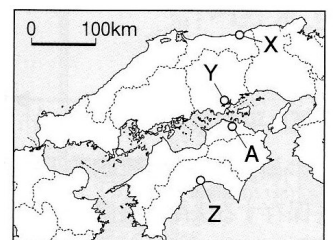
(8) 右の表は、島根、広島、愛媛、高知県の、それぞれの面積、人口、果実・製造品出荷額、県庁所在地の降水量平年値を示している。

A ～ C にあてはまる県名を答えなさい。

A () 県 B () 県 C () 県



(2012 年版「理科年表」)



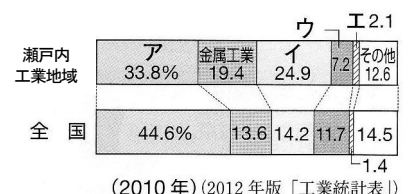
県名	面積 (km ²)	人口 (人)	果実の産出額 (億円)	製造品出荷額 (億円)	県庁所在地の降水量の平年値 (mm)	
					1 月	7 月
A	8,480	2,860,750	126	79,547	44.6	258.6
高知県	7,105	764,456	102	4,985	58.6	328.3
B	6,708	717,397	37	8,824	147.2	252.4
C	5,678	1,431,493	451	35,949	51.9	191.6

(2012 年版「データでみる県勢」、2012 年版「理科年表」)

(9) 右のグラフは、瀬戸内工業地域と全国の工業製品出荷額の割合を比較している。グラフのア～エは、化学工業、

機械工業、食料品工業、せんい工業のいずれかである。①化学工業と②機械工業をア～エから 1 つずつ記号で選びなさい。

① () ② ()



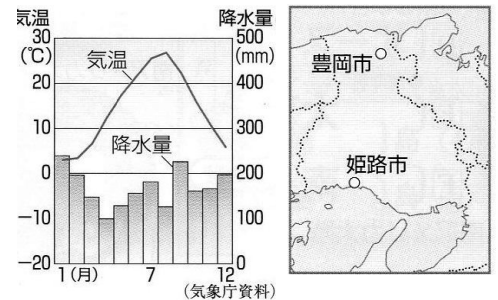
(2010 年) (2012 年版「工業統計表」)

チャレンジシート③ ジャンプ

【近畿・中部地方】

単 元 名	年 組 番	13 問
2 年 地理的分野	氏名	
日本の地域的特色②		

(1) 右の雨温図は、左の地図の豊岡市と姫路市のどちらを表しているか答えなさい。また、その根拠となる理由を書きなさい。
都市名()
理由()



(2) 右の表のア～エは、兵庫県、大阪府、和歌山県、三重県のいずれかがあてはまる。三重県と兵庫県にあてはまるものを、表のア～エからそれぞれ選んで記号で答えなさい。

府県	人 口 (千人) (2011年)	人口密度 (人/km ²) (2011年)	輸送用機械器具 出荷額(億円) (2010年)	みかんの 収穫量(t) (2010年)
ア	1,847	320	25,296	19,700
イ	5,582	665	9,944	2,070
ウ	8,861	4,666	7,640	14,200
エ	995	211	118	152,300

(2012/13年版「日本国勢図会」)

三重県() 兵庫県()

(3) 右の地図中A～Cは3,000m級の山脈がある。A～Cの山脈名を答えなさい。

A() B() C()

(4) 地図中の魚沼市は稲作が盛んな地域であるが、1970年ごろから減反政策が実施された。その主な理由を書きなさい。

()

(5) 魚沼市のある新潟県をはじめとする北陸では、伝統産業が発達している。その理由を冬季の気候と関連付けて簡潔に書きなさい。

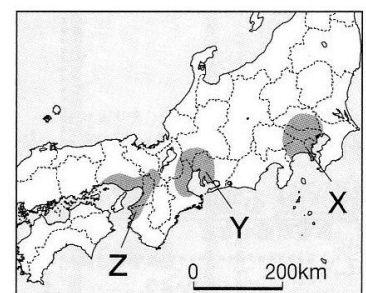
()

(6) 右の地図中のY、Zの工業地帯名を答えなさい。

Y() Z()

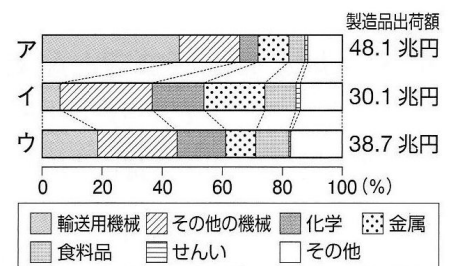
(7) 右のグラフのア～ウはX～Zの工業地帯のいずれかの製造品出荷額の内訳を示している。Yの工業地帯を示しているものを、ア～ウから1つ記号で答えなさい。

()



(8) 右のグラフから読み取れる、地図中のYの工業地帯の特徴を、他の二つの工業地帯と比較した製造品出荷額と種類別の内訳に着目して簡潔に書きなさい。

()



(2010年)(2012年版「工業統計表」)

チャレンジシート③ ジャンプ

単 元 名	年 組 番	10 問
2 年 地理的分野	氏名	
日本の地域的特色③		

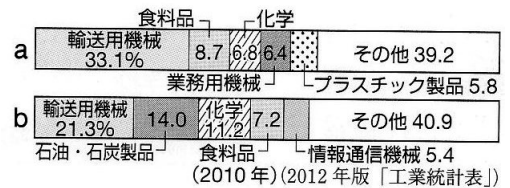
【関東・東北・北海道地方】

(1) 右の表は、横浜市と他の都市を比較したものである。横浜市の昼夜人口比率が他の都市に比べて低い理由を簡潔に書きなさい。

都市名	昼夜間人口比率 (2010年)	人 口 (万人) (2011年)	事業所数 (2009年)	事業所従業員数 (万人) (2009年)
東京都区部	130.9	856	553,684	790
横浜市	91.5	363	123,277	155
大阪市	132.8	254	209,636	245
名古屋市	113.5	218	132,199	153

※昼夜間人口比率とは、夜間の人口を100としたときの昼間の人口の割合。また、東京都区部とは特別区23区のこと。
(2012年版「データでみる県勢」ほか)

(2) 右のグラフは、神奈川県と群馬県の工業製品出荷額の割合を示している。神奈川県はa、bのどちらか記号で答えなさい。また、その理由を神奈川県の位置に着目して簡潔に書きなさい。



記号()

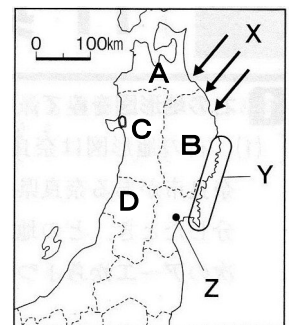
理由()

(3) 右の資料は、茨城県産レタスの主な出荷先への卸売数量を示している。茨城県は野菜の栽培がさかんだが、その産地としての利点を、右資料を参考に「大都市」、「新鮮」の2語を用いて簡潔に書きなさい。

出荷先	数量(t)
北海道	2943
東 北	5824
関 東	43864
京 浜	6419
北 陸	1077
東 海	5106
近 畿	4577
中 国	633
四 国	258
九 州	15
合 計	70716

2010年 (農林水産省資料)

(4) 右の地図中Xは、やませの一般的な風向きを示している。この風はどのような風で、どのような影響をおよぼすか簡潔に書きなさい。



(5) 右の地図中Yの地域の海岸は、狭くて深い湾が複雑に入り組んでいる。このような海岸の地形を何というか。()

(6) 右の地図中Zの都市は、中央官庁の出先機関や大企業の支店が多く、東北地方の政治や経済の中心になっている。このZの都市名を答えなさい。

(7) 右の表の㉔～㉚は、上の地図中のA～Dの県のいずれかを示している。㉔と㉚にあてはまる県を記号で選び、県名も答えなさい。 ㉔(記号 県名) ※各両解

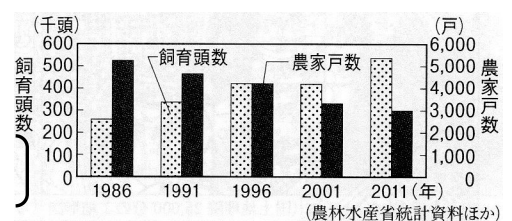
道・県	農業生産額(億円)	農業生産額の内訳(億円)			
		米	果実	畜産	その他
北海道	10,111	1,071	58	5,229	3,753
㉔	2,022	812	453	330	427
㉕	1,759	1,019	81	296	363
㉖	2,395	597	113	1,271	414
㉚	2,664	523	652	778	711

(2009年)

(2012年版「データでみる県勢」)

㉚(記号 県名)

(8) 右の表から北海道では畜産業がさかんであることがわかる。右のグラフは、北海道の肉用牛の飼育頭数と飼育農家戸数の推移を示している。北海道の肉用牛の飼育農家の経営規模がどの



ように変化していることが読み取れるか簡潔に書きなさい。